

学 会 等 発 表 実 績

委託業務題目：「PGAスパーサーに関する技術開発」「次世代型・体内吸収性スパーサーの開発」

機関名：神戸大学（医学部附属病院 放射線腫瘍科）

1．学会等における口頭・ポスター発表（佐々木良平ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Intra-abdominal space modulated radiotherapy: Safety and efficacy of absorbable spacer in particle therapy (ポスター)	Ryohei Sasaki, Hiroaki Akasaka, Daisuke Miyawaki, Nor Shazrina Sulaiman, Yusuke Demizu, Shigeru Yamada, Masao Murakami, Takumi Fukumoto	the European Society for Radiotherapy & Oncology (ESTRO), Vienna	2014/4/4-8	国際学会
A Novel Method for Space Modulated Radiotherapy (SMRT):Nonwoven fabric polyglycolic acid (PGA) spacer (ポスター)	Ryohei Sasaki, Hiroaki Akasaka, Daisuke Miyawaki, Nor Shazrina Sulaiman, Yusuke Demizu, Shigeru Yamada, Masao Murakami, Takumi Fukumoto	The 15th Asian Oceanian ongress of Radiology (AOCR), Kobe	2014/9/24-28	国際学会
Efficacy of PGA spacer in particle therapy: a novel strategy making temporal space between tumor and adjacent organs (口頭)	Hiroaki Akasaka, Ryohei Sasaki, Daisuke Miyawaki, Naritoshi Mukumoto, Nor Shazrina Sulaiman, Wang Tian Yuan, Shigeru Yamada, Masao Murakami, Yusuke Demizu, Takumi Fukumoto	Micro-mini & nano dosimetry and prostate cancer treatment workshop (MMND-IPCT), Port Douglas	2014/8/20-25	国際学会
A Novel Method of Radioprotection in Particle Therapy for Pancreatic Cancer:Efficacy of Surgically Implanted Absorbable Spacer	Ryohei Sasaki, Hiroaki Akasaka, Daisuke Miyawaki, Nor Shazrina Sulaiman, Yusuke Demizu, Shigeru Yamada, Masao Murakami, Takumi Fukumoto	第73回日本医学放射線学会, 横浜	2014/4/10-13	国内学会

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載（佐々木良平ら）

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等 名）	発表し た時期	国内・ 外の別
Preclinical Evaluation of Bioabsorbable Polyglycolic Acid Spacer for Particle Therapy	Hiroaki Akasaka, Ryohei Sasaki, Daisuke Miyawaki, Naritoshi Mukumoto, Nor Shazrina, Binti Sulaiman, Masaaki Nagata, Shigeru Yamada, Masao Murakami, Yusuke Demizu, Takumi Fukumoto	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2014 Dec 1;90(5):1177-85.	2014/ /12	国際誌

委託業務題目：「PGAスペーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、a. 臨床治験の実施」
 機関名：兵庫県立粒子線医療センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表（出水 祐介、不破 信和ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Particle therapy using carbon ions or protons for intrahepatic cholangiocarcinoma (ポスター)	D. Jin, Y. Demizu, K. Terashima, N. Hasimoto, M. Takagi, M. Mima, F. nagano, K.Katsui, O. Fujii, T.Okimoto, Y.Toyomasu, Y. Niwa, R. Sasaki, M.Murakami, Y.Hishikawa, M.Abe, and N. Fuwa	53th Annual Conference of the Particle Therapy Co-Operative Group	2014年6月11日	国外
Particle Therapy Using Carbon Ions or Protons for Chondrosarcomas:a Single-Institution Retrospective Analysis (ポスター)	Y. Demizu, M. Mima, D. Jin, N. Hasimoto, M. Takagi, F. nagano, K.Katsui, K. Terashima, O. Fujii, T.Okimoto, T.Yamashita, Y.Toyomasu, Y. Niwa, R. Sasaki, M.Murakami, Y.Hishikawa, M.Abe, and N. Fuwa	53th Annual Conference of the Particle Therapy Co-Operative Group	2014年6月11日	国外
肝細胞癌に対する陽子線、炭素イオン線の臨床的効果の差異に関する検討(口頭)	橋本直樹、寺嶋千貴、美馬正幸、高木克、金東村、藤井收、出水祐介、不破信和	第307回日本放射線学会関西地方会	2014年6月21日	国内
転移性肝腫瘍に対する粒子線治療成績の検討(口頭)	勝井邦彰 寺嶋千貴 橋本直樹 高木克 美馬正幸 丹羽康江 永野史子 金東村 藤井收 出水祐介 沖本智昭 不破信和	第307回日本放射線学会関西地方会	2014年6月21日	国内
Survival Benefit of Particle Radiotherapy Using Protons and Carbon-Ions as First-line Treatment for Initial Hepatocellular Carcinoma. (口頭)	K. Terashima, Y. Demizu, F. nagano, K.Katsui, M. Takagi, D. Jin, M. Mima, O. Fujii, T.Okimoto, N. Fuwa	5th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting	2014年7月12日	国外
Comparison between Proton Therapy and Carbon Ion Therapy: the Hyogo Experience (口頭)	Y. Demizu	The 2nd Taiwan-Japan Conference on the High Precision Radiation Therapy	2014年7月19日	国外
粒子線治療計画における吸収性スペーサーの有効性の評価方法について(口頭)	出水祐介	第3回スペーサー治療研究会	2014年8月29日	国内

Particle radiotherapy (carbon ions and protons) for sarcoma (口頭)	Y. Demizu	9th The Japan-United States International Workshop on the Sarcoma Research and Therapy	2014年12月4日	国外
軟骨肉腫に対する粒子線治療成績 (口頭)	美馬正幸 出水祐介 脇隆博 金東村 高木克 永野史子 寺嶋千貴 藤井收 沖本智昭 ノル・シャズリナ 豊増泰 橋 本直樹 丹羽康江 勝井邦彰 村上昌雄 佐々木良平 不破 信和	放射線腫瘍学会 学術大会第27 回大会	2014年 12月12 日	国内

委託業務題目：「PGAスパーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、a．臨床治験の実施」
 機関名：神戸大学（大学院保健学研究科 運動機能障害学分野）

1．学会等における口頭・ポスター発表（秋末 敏宏ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
重粒子線治療後に局所再発を来した悪性骨・軟部腫瘍の検討	藤田 郁夫、秋末 敏宏、今井 礼子、出水 祐介、藤本 卓也、深瀬 直政、河本 旭哉、原 仁美、鎌田 正、不破 信和、黒坂 昌弘	第 87 回日本整形外科学会学術総会	2014 年 5 月	国内

委託業務題目：「PGAスペーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、

b. スペーサー治療研究会での外科手技の標準化と適応判断」

機関名：神戸大学（大学院医学研究科 肝胆膵外科学分野）

1. 学会等における口頭・ポスター発表（福本 巧、具 英成ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
体内空間可変粒子線治療による肝胆膵癌の治療（口頭）	福本 巧, 木戸 正浩, 岡崎太郎, 新関 亮, 松本 逸平, 味木 徹夫, 出水 祐介, 不破 信和, 佐々木 良平, 具英成	福島県 郡山市(第 69 回日本消化器外科学会総会)	2014年7月16日～18日	国内
進行肝癌に対する独自の外科的先進技術を駆使した集学的治療(口頭)	福本 巧, 木戸 正浩, 具 英成	兵庫県 神戸市(第 12 回日本消化器外科学会大会)	2014年10月23日～26日	国内
独自の外科的先進技術を駆使した進行・大型肝癌に対する治療戦略(口頭)	福本 巧, 木戸 正浩, 武部 敦志, 田中 基文, 木下 秘我, 蔵満 薫, 津川 大介, 福島 健司, 浦出 剛史, 宗 慎一, 浅利 貞毅, 岡崎 太郎, 新関 亮, 松本 逸平, 味木 徹夫, 具 英成	京都府 京都市(第 50 回日本肝癌研究会)	2014年6月5日～6日	国内
神戸大学の再発肝癌に対する外科治療戦略:その適応と限界(口頭)	福本 巧, 木戸 正浩, 武部 敦志, 田中 基文, 木下 秘我, 蔵満 薫, 津川 大介, 福島 健司, 権 英寿, 浦出 剛史, 宗 慎一, 浅利 貞毅, 岡崎 太郎, 新関 亮, 松本 逸平, 味木 徹夫, 具英成,	東京都 千代田区(第 68 回手術手技研究会)	2014年5月16日～17日	国内
腹部・骨盤部悪性腫瘍に対する体内空間可変粒子線治療の治療成績(口頭)	福本 巧, 木戸 正浩, 武部 敦志, 田中 基文, 蔵満 薫, 浅利 貞毅, 岡崎 太郎, 新関 亮, 松本 逸平, 味木 徹夫, 寺嶋 千貴, 出水 祐介, 不破 信和, 佐々木 良平, 具 英成	兵庫県 神戸市(第 18 回兵庫粒子線治療研究会)	2014年3月7日	国内
広範囲胆管癌に対する治療法別(切除、化学療法、粒子線)の成績	味木 徹夫, 岡崎 太郎, 松本 拓, 村上 冴, 篠崎 健太, 新関 亮, 木戸 正浩, 松本 逸平, 福本 巧, 具 英成	福島県 郡山市(第 69 回日本消化器外科学会総会)	2014年7月16日～18日	国内
局所進行膵体尾部癌に対する粒子線治療を用いた新しい治療戦略(口頭)	後藤 直大, 松本 逸平, 具 英成	兵庫県 神戸市(第 12 回日本消化器外科学会大会)	2014年10月23日～26日	国内
体内空間可変粒子線治療による肝胆膵癌の治療(口頭)	福本 巧, 木戸 正浩, 岡崎太郎, 新関 亮, 松本 逸平, 味木 徹夫, 出水 祐介, 不破 信和, 佐々木 良平, 具英成	福島県 郡山市(第 69 回日本消化器外科学会総会)	2014年7月16日～18日	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載（福本 巧、具 英成ら）

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
後腹膜脂肪肉腫術後再発に対してスペーサー手術および陽子線照射による2段階治療が奏効した1例	岩崎 寿光, 福本 巧, 出水 祐介, 寺嶋 千貴, 藤井 収, 小松 昇平, 松本 逸平, 味木 徹夫, 不破 信和, 具 英成	日本消化器外科学会雑誌. 47(7) 403-409		国内
同時性腸骨転移を伴う肝細胞癌に対し集学的治療を行い長期生存を得た1例	宗 慎一, 木戸 正浩, 福本 巧, 武部 敦志, 田中 基文, 木下 秘我, 蔵満 薫, 津川 大介, 福島 健司, 浦出 剛史, 吉田 俊彦, 浅利 貞毅, 岡崎 太郎, 新関 亮, 松本 逸平, 味木 徹夫, 具 英成	癌と化学療法. 41(12)2107-2109		国内
粒子線治療後に局所再発した転移性肝癌の1切除例	吉田 俊彦, 武部 敦志, 福本 巧, 木戸 正浩, 田中 基文, 蔵満 薫, 木下 秘我, 津川 大介, 福島 健司, 浦出 剛史, 宗 慎一, 味木 徹夫, 松本 逸平, 新関 亮, 岡崎 太郎, 浅利 貞毅, 後藤 直大, 松本 拓, 具 英成	癌と化学療法. 41(12) 2071-2073		国内

委託業務題目：「PGAスペーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、

c . スペーサー治療研究会での粒子線治療の適応拡大と標準治療法の確立」

機関名：山形大学（医学部 放射線腫瘍学講座）

2 . 学会誌・雑誌等における論文掲載（根本 健二ら）

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
Phase I/II trial of definitive carbon ion radiotherapy for prostate cancer: evaluation of shortening of treatment period to 3 weeks.	Nomiya T1, Tsuji H1, Maruyama K1, Toyama S1, Suzuki H2 Akakura K3, Shimazaki J4, Nemoto K5, Kamada T1, Tsujii H1; Working Group for Genitourinary Tumors	British Journal of Cancer. 110(10):2389-95.	13 May 2014	国際誌

委託業務題目：「PGAスパーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、

c. スパーサー治療研究会での粒子線治療の適応拡大と標準治療法の確立」

機関名：国立がん研究センター東病院（粒子線医学開発分野）

1. 学会等における口頭・ポスター発表（秋元 哲夫ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
粒子線治療の特徴と今後の展望(口演)	秋元哲夫	福岡(日本臨床腫瘍学会)	2014年7月	国内
Acute toxicities and DVH parameters for organ at risk in proton beam therapy for stage III non-small cell lung cancer	茂木 厚、秋元哲夫、他	米国(American Society for Radiation Oncology)	2014年9月	国外
食道癌に対する化学療法併用陽子線治療の有効性と可能性について	秋元哲夫、他	横浜(日本放射線腫瘍学会)	2014年12月	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載（秋元 哲夫ら）

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Late toxicity of proton beam therapy for patients with the nasal cavity, para-nasal sinuses, or involving the skull base malignancy: importance of long-term follow-up	Zenda S, Kawashima M, Arahira S, Kohno R, Nishio T, Tahara M, Hayashi R, Akimoto T	Int J Clin Oncol	2014年	国内

委託業務題目：「PGAスペーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、

c. スペーサー治療研究会での粒子線治療の適応拡大と標準治療法の確立」

機関名：筑波大学（医学医療系 放射線腫瘍学）

1. 学会等における口頭・ポスター発表（櫻井 英幸ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
スペーサーを併用した陽子線治療の初期経験	斎藤高，室伏景子，沼尻晴子，水本斉志，大西かよ子，石川仁，福光延吉，栗飯原輝人，奥村敏之，櫻井英幸	横浜(日本放射線腫瘍学会第27回大会)	2014.12.11-13	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載（櫻井 英幸ら）

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
スペーサー挿入術により消化管が近接する腫瘍に陽子線治療を施行した6例	劔持明，久倉勝治，寺島秀夫，明石義正，櫻井英幸，大河内信弘	日本臨床外科学会雑誌 2014, 75(5):1164-1168.	2014.5	国内

委託業務題目：「PGAスペーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、

c. スペーサー治療研究会での粒子線治療の適応拡大と標準治療法の確立」

機関名：脳神経疾患研究所 南東北がん陽子線治療センター

1. 学会等における口頭・ポスター発表（中村 達也ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
高齢食道癌に対する陽子線治療の成績（口頭）	小野崇	日本放射線腫瘍学会（JASTRO）第27回学術大会	2014/12/11 ~ 13	国内
III期非小細胞肺癌に対する陽子線治療の初期治療成績	畑山佳臣	第131回 日本医学放射線学会 北日本地方会	2014/10/24	国内
再発口腔癌に対する動注化学陽子線療法の治療成績	林雄一郎	日本放射線腫瘍学会（JASTRO）第27回学術大会	2014/12/11 ~ 13	国内
鼻腔癌新鮮例に対する陽子線治療の初期経験	阿左見祐介	第11回 日本粒子線治療臨床研究会	2014/10/4	国内
Proton beam therapy for cancer	晴山雅人	International cancer symposium in Sakhalin	2014/10/1-3	国外
食道癌に対する X 線、陽子線を併用した化学放射線治療の治療成績	中村達也	第68回 日本食道学会学術集会	2014/7/3-4	国内

委託業務題目：「PGAスパーサーの有効性・安全性に関する臨床研究、

c. スパーサー治療研究会での粒子線治療の適応拡大と標準治療法の確立」

機関名：名古屋市立大学（医学系研究科 放射線医学）

1. 学会等における口頭・ポスター発表（岩田 宏満ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
陽子線治療における基礎生物-RBE・OER に関して、招待講演、口頭発表	岩田宏満	日本放射線影響学会 第 57 回大会	2014/10	国内
Spot scanning 照射法による陽子線治療 -生物学的基礎検討・初期臨床経験-, 口頭発表	岩田 宏満, 荻野 浩幸, 服部 有希子, 橋本 眞吾, 安井 啓祐, 林 建佑, 歳藤 利行, 山田真帆, 馬場二三八, 芝本 雄太, 溝江 純悦	日本放射線種学会第 27 回学術大会	2014/12	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載（岩田 宏満ら）

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Carbon ion therapy for early-stage non-small-cell lung cancer.	Demizu Y, Fujii O, Iwata H, Fuwa N.	Biomed Res Int.	2014 ;2014 :727962 Epub 2014 Sep 11	国外

委託業務題目：「次世代型・体内吸収性スパーサーの開発」

機関名：放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター

1．学会等における口頭・ポスター発表（山田 滋ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Treatment of gastrointestinal tumors with particle therapy:口頭	Shigeru Yamada	Shanghai:53rd Annual Meeting of Particle	2014年6月	国外
大腸癌の術後再発に対する重粒子線治療:口頭	山田滋、安田茂雄、山本直敬、磯崎哲朗、塩見美帆、高橋渉、中嶋美緒、原田麻由美、鎌田正、辻井博彦	福岡:第12回日本臨床腫瘍学会	2014年7月	国内
消化器癌に対する重粒子線治療の現状と展望:口頭	山田 滋	福岡:第39回日本大腸肛門病学会	2014年9月	国内
消化器癌における重粒子線治療:口頭	山田 滋	横浜:第3回神奈川大腸がん治療セミナー	2014年11月	国内
放射線治療後の直腸がん術後骨盤内局所再発に対する重粒子線治療の有効性の検討:口頭	山田 滋、磯崎由佳、安西誠、安田茂雄、鎌田正、辻井博彦	横浜:日本放射線腫瘍学会第27回	2014年12月	国内
直腸癌局所再発に対する重粒子線治療適応拡大のためのスパーサーの有用性に関する研究:口頭	山田 滋、安西誠、安田茂雄、鎌田正、辻井博彦	神戸:第4回スパーサー治療研究会	2015年2月	国内
Particle Radiotherapy for Locally Recurrent Rectal Cancer:口頭	Shigeru Yamada	Seoul:2nd Samsung Colorectal Cancer Center Single Topic Symposium	2015年2月	国外

2．学会誌・雑誌等における論文掲載（山田 滋ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
直腸癌局所再発に対する重粒子線治療	山田滋、磯崎哲朗、磯崎由佳、安西誠、安田茂雄、鎌田正、辻井博彦	臨床外科	2014年10月	国内

委託業務題目：「次世代型・体内吸収性スパーサーの開発」

機関名：獨協医科大学（医学部 放射線治療センター）

1．学会等における口頭・ポスター発表（村上 昌雄ら）

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
Efficacy of PGA spacer in particle therapy: a novel strategy making temporal space between tumor and adjacent organs	Hiroaki Akasaka, Ryohei Sasaki, Daisuke Miyawaki, Naritoshi Mukumoto, Nor Shazrina Sulaiman, Wang Tian Yuan, Shigeru Yamada, Masao Murakami, Yusuke Demizu, Takumi Fukumoto	Micro-mini & nano dosimetry and prostate cancer treatment workshop	2014年	国外
Interim assessment of clinical prospective ran-domized trial for patients with HCC between proton and carbon-ion radiotherapy	Murakami M, Terashima K, Nishimura K, Demizu Y, Fuwa N	The 15th Asian Oceanian Congress of Radiology	2014年 9月	国内